

太陽光

■ 今後は、分散型電源として住宅用、事業所用を中心に、より効率的な導入を進める方向性を重視して施策の展開を図る。

<戦略プロジェクト>

- 積雪寒冷地に適した住宅用太陽光発電設備導入促進プロジェクト
- 太陽光発電O&Mビジネス参入促進プロジェクト

風力

■ 本県のポテンシャルを活かして、風力発電事業及びメンテナンス業務への地元企業の参入促進を図る。

<戦略プロジェクト>

- 風力メンテナンス業務に係る人材育成



バイオマス

■ バイオマスのエネルギー利用にあたっては、農林水産業の持続性を第一に考え、資源量に応じた適切な規模でのシステム設計を行う。

■ エネルギー生産の最大化より、農林業の活性化を優先し、他産業との連携も視野に入れた新規事業・雇用創出を目指す。

<戦略プロジェクト>

- 大規模集中型木質バイオマス拠点プロジェクト
- 小規模分散型地域熱供給プロジェクト

小水力

■ 農業水利施設の維持管理費の軽減や農業関連施設への電力供給等につながるよう、関係機関が連携した取組体制を構築する。

<戦略プロジェクト>

- 小水力農業活性化・観光地再生プロジェクト

地熱・地中熱

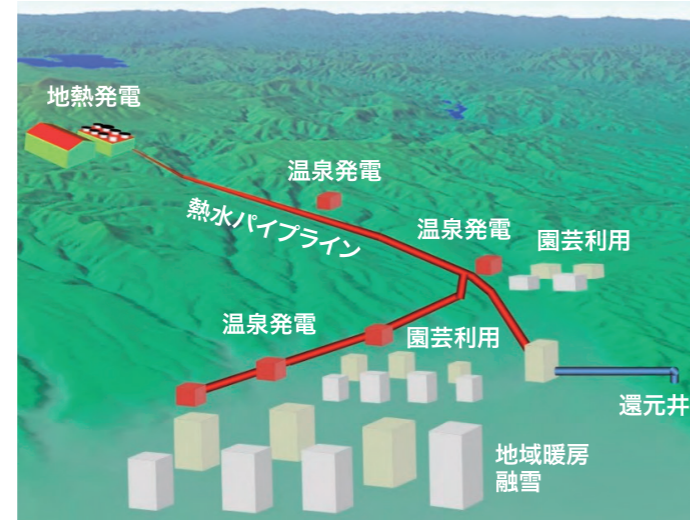
■ 地熱発電を早期に実現させ、発電後の分離熱水を地域の暖房、融雪、農業のハウス栽培等に利用する多段階のカスケード利用を促進する。

■ 地中熱は、身近な省エネルギー熱源であり、効率が良く、ランニングコストが低いことから、公共施設、住宅、ビルなどへの地中熱利用システムの導入を拡大する。

<戦略プロジェクト>

- 地熱・温泉熱カスケード利用実証プロジェクト

■ カスケード利用のイメージ



海洋エネルギー

■ 海洋エネルギーの利用拡大を図るため、漁業、養殖業、水産加工業の活性化につながる実証事業を、地元漁業者や漁港関係者と協調して進める。

<戦略プロジェクト>

- 津軽半島潮流発電実証プロジェクト

次世代自動車

■ 次世代自動車の普及拡大のため、車両性能の向上、購入価格の低減、充電インフラの整備等の取組を一層強化するとともに、エネルギーマネジメントシステムにおける位置づけ、役割を高めていく。

<戦略プロジェクト>

- スマートハウスを実現するV2H普及プロジェクト
- インフラ産業振興プロジェクト
- 次世代自動車整備人材育成プロジェクト

スマートコミュニティ

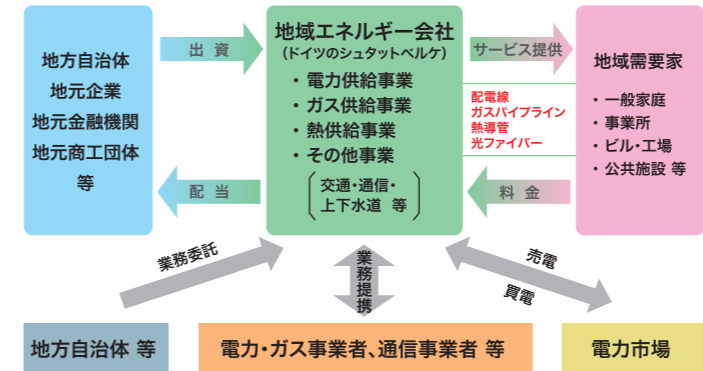
■ エネルギーの効率化と熱の有効利用の観点から、コージェネレーション(熱電併給)を主体としたスマートコミュニティを構築。

■ 自立分散型のスマートコミュニティを普及拡大していくため、ドイツのシュタットベルケのような新たな事業体(地域エネルギー会社)について、地域の自治体、企業、住民等が協働して取り組む。

<戦略プロジェクト>

- あおり型スマートコミュニティ モデルプロジェクト
 - 〔都市型モデル 農林業協調型モデル〕
 - 〔水産業協調型モデル 水素ステーション型モデル〕

■ シュタットベルケを参考にしたスマートコミュニティのイメージ

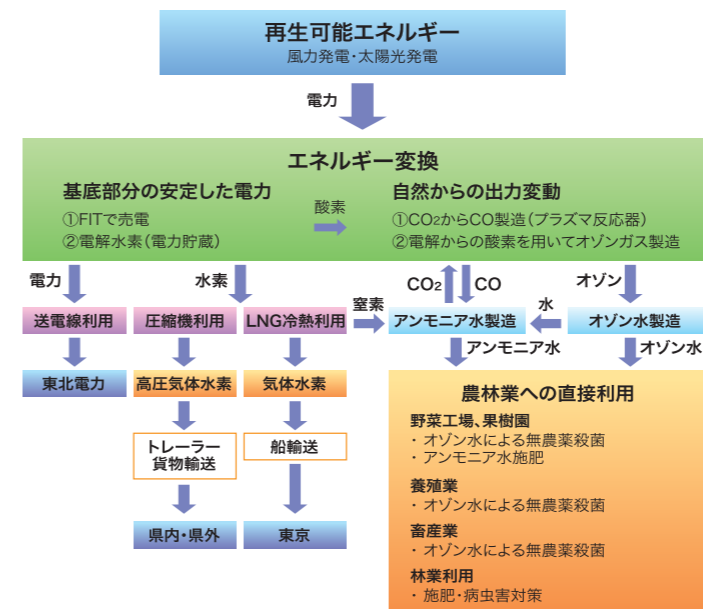


水素

■ 再生可能エネルギーの導入拡大に伴う余剰電力を活用し、CO₂フリーの水素製造とその関連事業に係る実証プロジェクトを推進していく。

<戦略プロジェクト>

- むつ小川原開発地区CO₂フリー水素製造関連事業プロジェクト



熱利用

■ 熱と電気を一体として供給するコージェネレーション(熱電併給)は、エネルギーを最も効率良く活用できる方法の1つであり、省エネ性に加え、緊急時のバックアップ電源としても期待されることから、地域単位での導入拡大を図る。

<戦略プロジェクト>

- ガスコージェネレーション普及促進プロジェクト

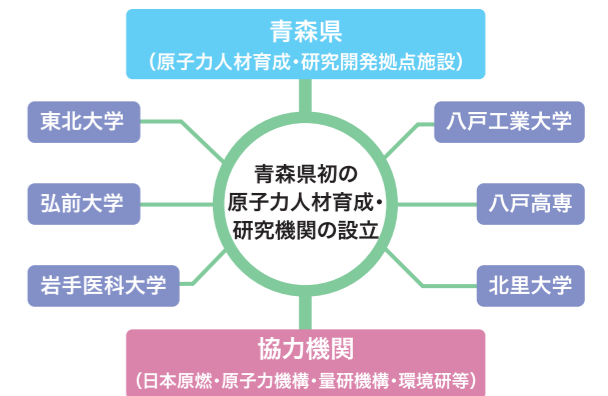
人材育成・研究開発

■ 本県が引き続きエネルギーの安定供給上、重要な役割を果たしていくため、その基盤となる人材・技術の維持強化を図っていく。

<戦略プロジェクト>

- 地場産業との連携に必要な人材育成・体制構築プロジェクト
- 弘前大学における総合エネルギー教育推進プロジェクト
- 八戸工業大学、八戸工業高等専門学校原子力人材育成プロジェクト
- 原子力科学技術大学院大学(仮称)設置プロジェクト
- 原子力人材育成・研究開発推進プロジェクト
- 核融合エネルギー研究拠点プロジェクト
- 革新的リチウム回収技術実証プロジェクト

■ 連携協力体制



■ 原子力人材育成・研究開発拠点施設

